



2016年1月8日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神尾啓治
 (コード番号: 8198 東証第二部)
 問合せ先 経営管理本部長 高橋 誠
 (TEL. 055-989-5050(代))
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田元也
 (コード番号: 8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2015年4月9日に公表した2016年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2016年2月期通期連結業績予想数値の修正(2015年3月1日～2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	219,000	3,550	3,460	1,020	57.35
今回修正予想 (B)	219,000	4,100	4,000	1,400	78.71
増減額 (B-A)	0	550	540	380	
増減率 (%)	0.0	15.5	15.6	37.3	
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	208,666	3,264	3,376	1,268	71.36

(2) 2016年2月期通期個別業績予想数値の修正(2015年3月1日～2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	215,200	4,000	3,920	1,300	73.12
今回修正予想 (B)	215,200	4,650	4,550	1,750	98.38
増減額 (B-A)	0	650	630	450	
増減率 (%)	0.0	16.3	16.1	34.6	
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	206,615	3,744	3,840	1,546	87.01

2. 修正の理由

個別業績につきましては、地域密着経営の具現化に向けた地元商品の品揃え拡充や歳時記への対応強化に加え、積極的な改装や消費二極化への対応など商品及び営業面における取組みを推進しており、既存店の売上高、荒利益率は堅調に推移しております。また、販売費及び一般管理費につきましても継続的な経費削減効果により、既存店ベースで昨年を下回る推移であることなどから、通期の営業利益、経常利益、当期純利益につきましては当初予想を上回る見通しとなりました。これらを主な押し上げ要因とし、連結業績におきましても営業利益、経常利益、当期純利益が各々当初予想を上回る見通しとなりました。営業収益につきましては、お客さまの節約志向を反映した消費行動の変化など、今後の先行きが依然として不透明な状況にあることなどから、連結及び個別業績ともに当初予想と同程度を見込んでおります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上